

# モモせん孔細菌病の秋季防除対策

山梨県農業技術課

モモせん孔細菌病は一度発生すると防除が困難で、今後台風による風雨等により再び園内に病原菌がまん延し、翌年の発生源となる恐れがあります。

産地ぐるみで本病の終息をめざし次の防除対策を徹底してください！

## せん孔細菌病の薬剤防除

- ほ場の菌の密度を下げるため、9月中旬から2~3回 薬剤を散布する。
- 使用する薬剤は、**ICポルドー412 30倍** 又は、**4-12式ポルドー液**を用いる。
- 樹全体に薬液がかかるよう ていねいに散布する。(10㎡当たり**400ℓ以上**を目安)



秋の落葉痕等から菌が侵入し感染するので、落葉前の防除が重要

## 秋からの防除体系（参考）

<b>9月中旬</b>	ICポルドー412 30倍(3.3kg) 又は 4-12式ポルドー液 (硫酸銅 400g 生石灰 1.2kg)	・住宅隣接園では、ムッシュポルドーDF500倍(200g)加用クレフノン 100倍(1kg)を用いる。 ただし、高温時の散布は避ける。 ・スミチオン水和剤 40 1,000倍(100g)を加用しても良い。
-------------	---	--

**\*約2週間後**



<b>9月下旬~ 10月上旬</b>	ICポルドー412 30倍(3.3kg) 又は 4-12式ポルドー液 (硫酸銅 400g 生石灰 1.2kg)	・住宅隣接園では、ムッシュポルドーDF500倍(200g)加用クレフノン 100倍(1kg)を用いる。 ただし、高温時の散布は避ける。
------------------------	---	--

**\*約2週間後**



<b>10月中旬</b>	ICポルドー412 30倍(3.3kg) 又は 4-12式ポルドー液 (硫酸銅 400g 生石灰 1.2kg)	・住宅隣接園では、ムッシュポルドーDF500倍(200g)加用クレフノン 100倍(1kg)を用いる。
--------------	---	---

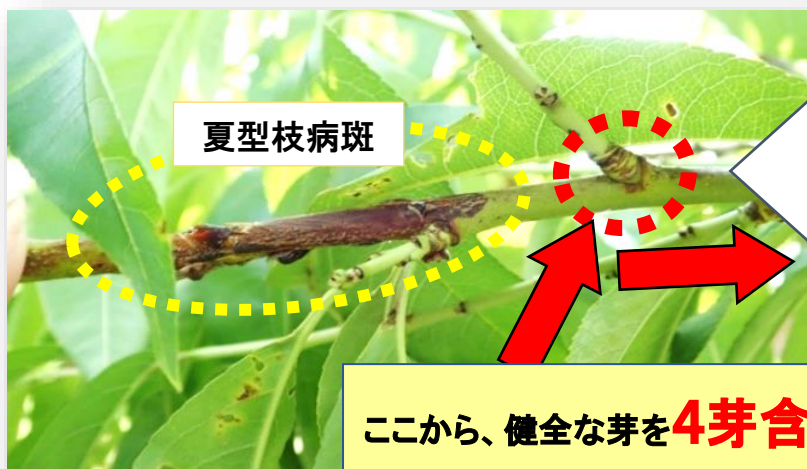
**\*強風や雨で感染が広がるため、台風や低気圧に伴う雨の前に防除を行う。**

**\*雨が降り続くような場合は、散布間隔を短くする。**

**\*周辺の収穫前の作物への飛散に注意する。**

## 耕種的防除

- 薬剤による防除とあわせ、次のような耕種的防除を行って下さい。



- 秋季防除の前に、「枝病斑のせん除」を徹底する。
- せん除の作業は、雨の日や枝葉が濡れている時は避ける。



- 枝葉全体に病斑が発生しているものは、枝の基部からせん除する。

## ★お知らせ★

### 秋季防除の薬剤費の一部を補助します！

※ 詳しくは、最寄りの農務事務所、市町、JA、農薬購入店等にご確認ください。